

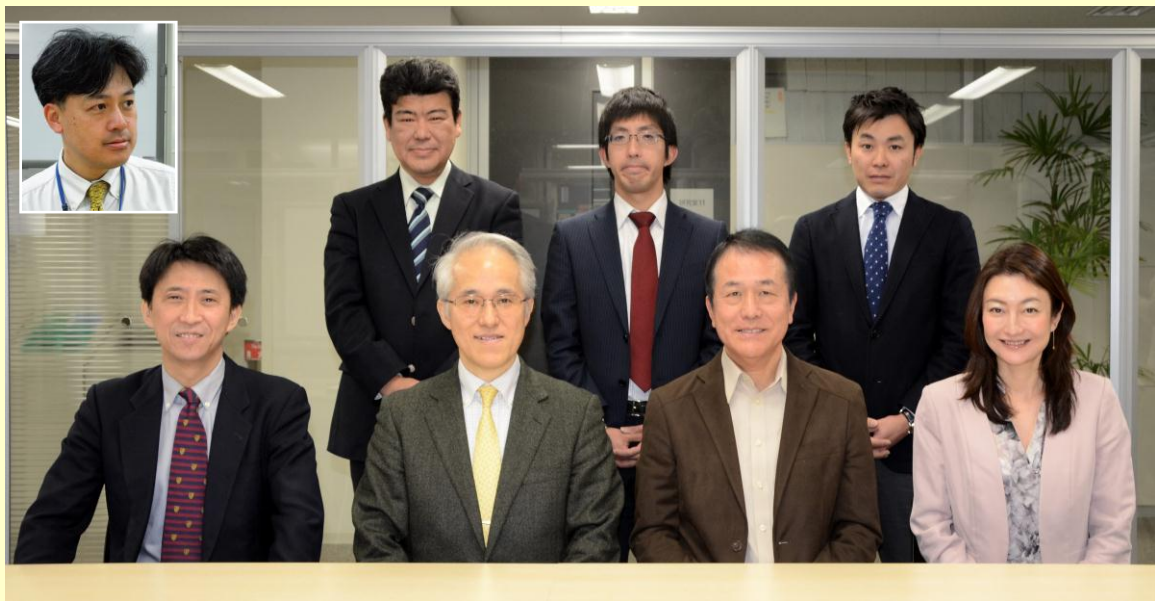
法政就業力通信

～今月のさんぽ道～

法政大学

産学連携 3D 教育プロジェクト
<http://3dep.hosei.ac.jp/>産学連携 **3D** 教育プロジェクト

迎春、本年も宜しくお願い致します。



プロジェクトメンバー 後列左より（細田 泰博）、平山 喜雄、菅野 渉、矢野 智樹
前列左より 鈴木 美伸、藤村 博之、有田 五郎、石関 裕子

プロジェクトメンバーから

教授 藤村博之（ふじむら ひろゆき） プロジェクトリーダー 考え、議論する姿を見せ続ける

文部科学省からの補助金は、今年の3月で終了します。しかし、このプロジェクトは、新年度になっても継続されることが決まりました。引き続き、よろしくお願い致します。

学生を見ていて気になることがたくさんありますが、その一つに「議論しない」という点があります。意見に食い違いがあるとき、「君はどうしてそう考えるのか。説明してほしい。」という質問をし、それをきっかけに議論が始まってもいいと思うのですが、なかなかそうなりません。「君と僕と違うんだね。」で終わってしまいます。もったいないと思います。

大学教育の一つの役割は、議論する力を養うことです。意見の違いがあるとき、なぜ違うのかを話し合うことによって互いの理解が深まり、新たな発見が生まれます。学生たちには、そのような経験をたくさんしてほしいと思います。学生が議論するようになるには、周囲にいる大人が議論する姿をもっと見せる必要があると考えます。物事を曖昧にするのではなく、明らかにすべき点はどこか議論するという大人の姿を日常的に学生が見れば、彼らの議論する姿勢が育っていくと思います。今年は、ガンガン議論する姿をできるだけ多く学生たちに見せたいと思います。

特任教員 鈴木 美伸（すずき よしのぶ） ベストティーチャー賞は我々プロジェクトの成果

嬉しいことに、昨年末に教育開発支援機構が主催する「学生が選ぶベストティーチャー賞」を戴きました。この賞を戴いて思い出すのは、一昨年の最初の授業での宣言です。法政大学院先輩の言葉から「授業は教員と学生のチームワークだ！この大学で一番良い授業を目指そう！」というのをスローガンにして学生に協力（ハードワーク）を求めました。良い授業は、教員だけが頑張っても効果は出しづらいですし、学生の努力だけに求めるのも非効率だからです。

良い授業とは、教員と学生とそして職員とが一致団結して刻苦勉励することで生み出せると改めて自信を持ちました。特に我々のプロジェクトは、これをご覧になっている多くの教職員の皆さまの支援に支えられておりますので、この賞はお世辞ではなく真のチームワークの成果です。今年も遠慮無くチームワークをお願いして良いんだと勇気を頂きましたので、本年もどうぞ宜しくお願い致します。

プロジェクトメンバーから

特任教員 有田 五郎（ありた ごろう） **キャッチ！ 身近の名言に学ぶ**

この年末・年始に友人・知人との会話から、いくつもの名言を得た。「物事はその人にとって最善の時に起こる」「全てにおいて、結果は常に五分五分」などなど。こうして文字にしてしまうと、その一語一句を冷静に分析してしまいが、耳にした時の気付きこそが大切だと思う。

それらを名言と受け取るか他者の独断とするか、受け手の状況や心情次第で聞こえ方が異なる。ただし言えることは、こちらを想っての発言をしてくれているということだ。相手の気持ちを受け容れようとする姿勢を持てば、相手の真意が読み取れる。

今年はこの受け取る感度を上げるように、常に意識することを目標の一つとしたい。

非常勤講師 石関 裕子（いしぜき ひろこ） **通信初登場です。学生時代に学んでおくべきこととは**

2014年度から「キャリアデザイン入門」を担当することになりました石関と申します。本業は、社会保険労務士として開業しており、普段は経営者の方の労務相談に乗ることが多いのですが、もともとは新卒で全日空の国内線CAをしていました。キャリアチェンジに苦労した経験から、「キャリアデザイン入門」の講義では、学生時代から職業について学ぶことの重要さや、多くの経験をしておくことの大切さを伝えています。また、昨今、ブラック企業やブラックバイトなど、前途ある有能な若者が企業に安い賃金で使い捨てにされていることが社会問題化しています。学生たちが、社会に出てからそうした企業に負けないよう、働くための法律知識も伝えていきたいと思っています。

事務局スタッフ 平山 喜雄（ひらやま よしお） **白い「羊」か黒い「羊」か？！**

今年が羊年です。羊はそのイメージから「おとなしい」「平和的」「役に立つ」「押しが弱い」「消極的」などと言われます。なんか日本人のことを言われているようです（笑）。また、羊がいつも群れで行動するので、単独で動くより組織の中で活躍するイメージがあり、メンバーシップ型雇用の日本社会にぴったりですね？！一方、「羊の群れの中には黒い羊もいる」や「羊の皮をかぶった狼」の例えにもあるようにこの社会にもはみ出してしまふ「羊」がいます。それはそれで必要な「羊」なのでしょう。みんながみんな同じ「羊」ではイノベーションは起こりませんものね。みなさんはどっちの「羊」を目指しますか？ そういえば「羊年」は「未年」とも書き、「未」は、まだ枝が伸びきらずにいる木の部分を描いたものらしいです。これから「未来」の社会に旅立っていく学生の姿とも言えます。みなさんの前にはいろいろな道が開けていますが、「多岐亡羊」とならないようしっかり道を選びとっていきましょう。それでも迷った方には、最後は神頼みということで、群馬や名古屋には「羊神社」があるそうです。お参りしてみたいかたがでしょうか。

事務局スタッフ 細田 泰博（ほそだ やすひろ） **「個性を重んじる入試」は個性を育てるか？**

仕事柄、1月は新年というより受験の時期という感覚です。受ける方も大変でしょうが試験を運営する方もなかなか苦労が多く、年明けはいつも「ああ、また始まっちゃうな…」という感じ。この受験が今度変わるといいます。

中教審では、今の小学6年生が大学を受験するときから新しいものになるとしています。かつて共通一次がセンター試験にといったレベルではなく、選考方法を面接やプレゼン、集団討論にするといった大きな変更になります。

まるで就職活動（採用選抜）のようですが、こうなると選ぶ大学側も、相当な「人を見分けるスキル」が必要です。またこの受験を経験した世代はよくも悪くもプレゼン上手なわけで、企業の採用担当者はより一層「見分けるスキル」が必要になってきて…。「受かるスタイル」が確立していくと目に見える個性などはなくなっていく、そんな予感がします。

◆ シンポジウム開催のご案内

2月3日(火)にシンポジウム『大学の学びで「働く力」がついた』～法政大学が進める産学連携大学教育改革～を実施いたします。本学で行われている、働く力を育成する関連科目のご紹介と産学連携3D教育プロジェクトの各取組みの説明、パネルディスカッションを行います。終了後に懇親会を行います。みなさまのご参加をお待ちいたしております。

◇ 日時:2015年2月3日(火)13:00～16:30 ◇ 会場:法政大学 市ヶ谷キャンパス ボアソナード・タワー26F スカイホール
詳しくは当プロジェクトのホームページ <http://3dep.hosei.ac.jp> でご案内しています。

◆ 編集後記:11月より異動してまいりましたが、早速ここに文章を入れるとは思っていませんでした。先月鈴木先生担当のビジネスコンテストに出席しましたが、学年も様々、法政以外の学生も含めたチームの中で学生の皆さんの発表スキルの高さにはただ驚かされるばかりでした。同コンテストも年を追うごとに質が良くなっているようなので、自分自身の質も上げつつチカラになればと思います。本年もよろしく願いいたします。《事務局 菅野》

法政大学 産学連携 3D 教育プロジェクト（事務局:学務部教育支援課）

〒102-8160 東京都千代田区富士見 2-17-1

TEL:03-3264-9520 WEB:<http://3dep.hosei.ac.jp/>

産学連携 **3D** 教育プロジェクト